



「ほたる娘」コンテスト

ほたるの里まつり

6月28日

【中小川集会所前(甲子町第4仮設団地内)】

「ほたるの里まつり」が昨年に続き今年も開催されました。残念ながら小雨の中での開催となりましたが、町内会や佐々木富美子社中の舞踊や歌や小川鹿踊りで盛り上がり、会場が笑顔であふれました。『ほたる娘』コンテストでは、エントリーしていた小学生ら12名のうち、3名が『ほたる娘』に選ばれ、記念品が贈呈されました。最後は全員で“蛍の里”を合唱しました。また、希望者には「ホタル捕獲(観察)許可証」が配られました。

わんぱくひろば

6月29日【中妻体育館】

「子どもたちが夢中で遊べる場所や親子で安全に遊べる場所が欲しい」という未就学児を持つ親からの声にこたえるため、室内に遊び場をつくり、親子で元気に思いきり体を動かして楽しむイベントが開催されました(東日本大震災いわて子ども支援センター主催)。大きな滑り台、ボールプール、プラズマカーなどの遊具やベビーヨガ、ロデオヨガなどのコーナーが用意され、子どもたちは、次々に遊具を変えながら、元気いっぱい遊びました。



楽しく滑る子どもたち

東日本大震災復興茶会

6月29日【青葉ビル】

釜石市表千家成和会は、これまで受けた多くの支援に対して感謝の気持ちを表すために、来場者に無料でお茶を振る舞いました。被災し、道具が壊れたり、流されたり、一時は活動もあきらめた時期もありましたが、多くの支援により再び活動を再開することができました。また、当日は、滝沢市の工芸作家・田中宗忠さんから贈られた旧市民文化会館のタイルを利用して作られた香合3種(市章とはまゆり、虎舞、かまりん)や旧市民文化会館のタブノキで作られた茶杓などの茶道具も展示されました。



旧市民文化会館のタイルを用いた香合3種



美しい所作でたてられるお茶



空中で見事にキャッチするシーウェイブスの選手

東海大に逆転勝利 釜石ラグビィグドリーム2014

6月15日【釜石市球技場】

釜石シーウェイブスは東海大学と対戦し、見事逆転勝利しました。前半は東海大学の若さあふれるプレーにおされてしまいましたが、後半から立て続けにトライを奪い、逆転に成功し、そのまま勝利を収めました。今季、15人制ラグビーの試合を地元で行うのは初めてで、試合には多くの市民が足を運び、選手達の果敢なプレーに声援があがりました。

釜石「みんなのひろば」開所式

6月15日

【鶴住居小・釜石東中仮設校舎校庭】

ナイキからの寄付とArchitecture For Humanityの協力によって、4棟目となる「みんなの家」がオープンしました。子どもたちの意見を聞きながら設計された『釜石「みんなのひろば」(クラブハウス)』は、鉄骨2階建てで、1階には2つのロッカールームや、みんなが集まれるサロンとして使える休憩室、2階は屋根付きのテラスがあり、ピッチング練習や試合時には応援テラスとして活用することができます。子どもたちのスポーツ活動や保護者たちの交流の場として、さらには地域の方々のコミュニティー活動の拠点になることが期待されています。



「みんな」が待ちに待ったうれしいオープン



タイ料理と日本食を通じて触れ合うタイの大学生と子どもたち

タイの大学生たちと交流

6月21日・22日【釜石市内各所】

外務省青少年交流事業「JENESYS2.0」において来日したタイの大学生たち36名が、釜石で東日本大震災について学び、地域の人たちと交流しました。1日目には、当時の鶴住居小の避難経路をたどるフィールドワークや鶴住居地区防災センター跡地の追悼施設で手を合わせ、防災について深く学びました。その後、橋野で農業体験や古民家改修作業、そして、各家庭での生活体験(民泊)を行いました。また2日目には、小佐野公民館で小学生たちとタイ料理やゲームなどを楽しみました。